



国際ロータリー第2670地区徳島第2分区

## 美馬ロータリークラブ週報



2008年10月21日 火曜日 Vol. 118

例会出席者 23名(会員総数28名) 出席率 82.1%  
メーカーキャップ 澤田君(鳴門中央RC) 修正出席率 85.7%  
ゲスト 丁育華様(米山奨学生)、本庄安正様(阿波徳島RC)  
会長挨拶 長浦会長

先週はガバナー公式訪問でご協力有り難うございました。豊田ガバナーからは、CLPを活用したクラブ運営及び委員会活動についてお話をいただきました。メンバーの広川君のご子息と戸島君のお嬢さんとの結婚披露宴の案内をいただきました。おめでとうございます。今週から、藤野幹事が検査のためドック入りをしています。早い退院を祈っています。

幹事報告 川田副幹事

週報到着 脇町RC

到着書類 ガバナー事務所より、公式訪問の礼状が届いています。「友」速報 354

2008~2009年度の地区大会の仮登録期限が来ています。本日、出席の会員については、全員登録ということでお願いします。

卓話 丁育華様(米山奨学生・徳大大学院先端技術科学教育部)

本庄安正様：本来は向井会長がお邪魔する予定でしたが、急用のため、私が丁さんの付き添いということで参りました。

丁育華様：本日はお招きいただきありがとうございます。

本日のテーマは「高齢者の都市居住を考慮した都市施設の配置評価に関する研究」と、少々、堅苦しいものになっていますが、最後までお付き合いください。

徳島市において、人口は1995年をピークに減少傾向にあり、他方、高齢化率は年々上昇しています。地方都市における高齢者の都市居住を考える点で重要な視点が二つあります。

まず、第一に施設の重要度ですが、生活に密着した施設があることがポイントとなります。次に施設までの満足距離が重要となります。その二つをアンケートなどを基にモデル化し、既存市街地の居住環境を数値で表現するという作業を徳島市の5カ所で実施しました。東京一極集中化が危惧される昨今、地方都市のあるべき姿を考える上で、参考とすべき貴重なデータを得ることができました。地方都市における人口の高齢化は避けることのできない大前提となっており、これからの都市作りの一方策を示すことができればと研究を続けています。



長浦会長：我々が常日頃漠然と考えていることを、明確に指摘していただきありがとうございました。これからのご活躍をお祈りします。

ニコニコ

川田君：菓子職人の見習い時代の同窓会に出席してきました。約40年ぶりの再会でしたが、青春時代へそのままタイムスリップしてきました。

欠席者 小田君、佐藤君、浪越君、林君、藤野君  
欠席者は、メーカーキャップをお願いします。

今週の一言 「失敗は落胆の原因ではなく、新鮮な刺激である。」

サウザーン/イギリスの劇作家

次回例会 2008年10月2日(火)18:30より レストラン西岡

「私の職業奉仕」 卓話者：秦健司君